

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月一回の勉強会にて理念の共有、確認をしている。以外にも研修や会議に参加し、意識を高めている。勉強会等でも理念についての取り組みなど意識向上に努めている。理念を踏まえて今までの生活の関わりを継続して頂けるようにプランに繋げている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染拡大にて、今年は地域との関わりは思うように出来なかつたが感染状況により少しづつ地域との関わりを増やし、利用者様が地域の中で生活を送っていくようにしていく。地域住民との関わりを深めて行きたい。	新型コロナウイルス感染拡大により地域との関わりが積極的に出来ていないことは仕方ない。現状、地域住民の方、20名ほど参加されていた認知症カフェも2年間中止状態ではあるが少しづつ緩和していくことで地域との関わりが増えていけたらいい。現状されている琵琶湖一斎清掃に参加されているので全くしていないわけではないので続けていくってほしい。町内会を活用した活動も検討してほしい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染拡大により外部からの参加が出来ていなかったが、施設内で実施し、ケア向上につながるスタッフとの意見交換を行ってきた。サービスの見直しやケアの在り方を考え実施してきた。	同じく、新型コロナウイルス感染拡大により運営推進会議の実施に困難な状況であった為出来ていないことは仕方がないが、状況を見ながら初めて行ける様、準備しておくことが大切になってくる。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染拡大により実際の現場に行くことはできなつたが、地域包括や病院の地域連携室とは連携を図り、困っている御本人やご家族の相談を出来る限り聞くよう努めてきた。今後もさらに関係性を構築し連携を取っていきたい。	同じく、新型コロナウイルス感染拡大により外部との接触をされていなかつたので無理にしろともいえる状況になかつた。今後は感染状況を見ながら進めいけたらと思います。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在2名の、ミトンによる拘束有。同意書と毎日の記録を取り、状況報告をご家族に行っている。居室には鍵をかけず職員が安全面等注意しながら、利用者様を見守り過ごしている。玄関ドアも、2番勤務が帰った後(PM8時)以外は施錠しない。月一回のスタッフ会議で、身体拘束委員会を実施し、カンファレンスを行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の身体拘束適正化の内部研修を行い、毎月のスタッフ会議でも話し合いが行われていて、やむを得ず身体拘束を行う場合も充分な手順を踏んで行えている。施錠をされていないし廃止に向けた働き方もされていると感じた。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に勉強会・研修会を行いスタッフ間の「虐待に関する意識を確認し、必要に応じてスタッフの個人面談を行っている。月一回のスタッフ会議で、身体拘束について話し合いを行い、同時に虐待防止についての話し合いも行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできっていない D. ほとんどできていない	年2回の定期的な勉強会・研修会を行い、毎月のスタッフ会議でも地域や理解を深め、話し合いが十分に行われていると感じた。常にスタッフ同士の声の掛け合いもされており事前に起こらないような配慮も見られて。一人一人に合ったケアを心掛けている取り組みも伺うことが出来た。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	後見人制度を利用されている入所者様がおられる為、スタッフ会議等の中で、権利擁護や成年後見制度の研修をしている。スタッフ自ら、利用者様等に権利侵害がないか、注意を払い防止・支援・解消に努めている。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者、介護支援専門員、事務担当。ケアスタッフとの面談を通じて十分に説明を行い、理解及び納得いただけるように対応に努めている。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染拡大により外部から意見反映は思うようにできていないが、ご家族には電話連絡を取り近況報告と要望などを聞くようしている。意見箱などの設置はしているが新型コロナウイルスにより反映は出来ていない。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染拡大により外部との接触を遮断されている現状ではあるが、利用者様との一人一人に時間をかけ、要望等を聞き入れようとしている努力は見られた。今後感染状況にもよるが外部からの意見反映が出来るようになっていくことを期待したい。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月一回のスタッフ会議は全員参加としている。新型コロナウイルス感染拡大により集団で集まることはできていないため、意見ノートを設置しスタッフ一人一人が意見を出し合えるように工夫している。また、管理者が個別で時間を持ち、意見を聞くようにしている。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員個々の努力や実績はもちろん、性格など見ながら、その人に合った業務担当等を決め、向上心や必要な人材であることを感じもらえるように努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフ一人一人の特性や能力を理解した中で、向上心を持って仕事に取り組めるように配慮した適材適所を提供していると感じた。一人一人と個別に面談し意見を反映していると感じられた。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の研修や講習等、その人に合わせて研修の機会を作っている。新型コロナウイルス感染拡大により法人外の研修には参加できないがスタッフ一人一人の意見を大切にして意見を反映している。1人1人に的確なケアやアドバイスを行えるように、時間を作り話が出来る環境を作っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの影響により研修自体が実施されていないことがほとんどである。感染状況をみながら研修等に参加できる機会が増えることを期待している。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている <b>C. あまりできていない</b> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染拡大により外部研修や外部との繋がりがなかなか持てなったが施設内にもサービス内容が違う同業者がいるため、そこでのケアに対する意見交換を行い、現場に持ち帰りスタッフ間で共有し生かしているよう努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている <b>B. ほぼできている</b> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分で出来ることはしてもらう。テーブル拭きや洗濯干し、たたみなど率先してくださる「ここ置いて、たたむわ」「やろか?」と積極的な声掛けに「お願いします」として頂く。昔のようにできない部分もあるのでさりげなく支援し、達成感を持っていただけるようにしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <b>D. ほとんどできていない</b>	新型コロナウイルス感染拡大により外部やご家族とも接触をご遠慮して頂いていた為、以前のように開放的に地域や友人等との交流は持てていない。今後馴染みの人など関係が途切れないと支援を考え提供していく。	面会禁止期間中、利用者様の笑顔の写真を送ることにより家族様より安心しましたというお返事を頂いた。面会できずに気力や体力低下するという話も他の事業所聞いた。リモートでの面会はマスクで顔が見えず、ガラス越しでは声が聞こえない等、利用者にとっては理解しにくいためいいとは言えない部分があった。食べる事は高齢者にとって楽しみであり、施設内のイベントでご飯を食べ、楽しむという行為は意欲向上に繋がるので続けて欲しい。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている <b>B. ほぼできている</b> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「朝はゆっくりがいいわ」「今日は部屋で食べたい」等本人の希望に添えるよう時間を調整し、提供させて頂いている。『さみしい、そばにいて』という方にはリビングで話を傾聴したり寄り添うようにしている。本人の意思を大切にスタッフが希望に添えるように努力している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている <b>B. ほぼできている</b> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアカンファレンスを定期・随時行い、それぞれのスタッフの意見を反映して、よりよいケアを提供できるように努めている。3ヶ月に1回の介護計画の見直しや、状況の変化には、管理者やケアマネを中心にカンファレンスを行い全スタッフで検討して調整している。生活機能向上連携により、一人一人に合った生活上の運動を取り入れ、月々の生活にメリハリがつけるように支援している。	生活機能向上加算の取り組みの考えがスタッフの間にも定着しており、寝たきりの利用者であっても声をかけ続けることで表情の変化や声が出たことがスタッフの喜びにもなった。一人ですのではなくチームで取り組むことが利用者様のためになると実感していた。スタッフ全員が同じ方向性になると実感している。利用者様の眠ってる能力を十分に引き出せていると感じた。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プラン等、いつでも閲覧できるようにしてあり、個別に要望や課題を把握し統一したケアの取り組みを行っているように感じた。スタッフからの意見反映するためのノートを作ったりチームで方向性を統一していると思った。継続して続けて行って欲しい。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実践や結果に基づき、見直しや新たな計画を立てるようにしている。ケアの気付きなどを作成し、情報の共有も踏まえ多角的に把握できるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月一回のスタッフ会議での話し合いに加えて、日々の気付きなどノートを使用して共有を図るなど実践されている実感できた。意見の反映がしっかりプランにも反映されていると感じることが出来た。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診への対応や外出支援、買い物支援など一人一人にニーズに合わせた対応をしている。歯茎の腫れや噛み合わせ不良等あれば訪問歯科に依頼するなどその時に出たニーズには出来る限り素早く対応している。しかし、新型コロナウイルス感染拡大により外部からのつながりが出来ていない為すべてを柔軟には出来ていないところもある。	プラン等を誰でも見られる環境にし、スタッフからの意見の吸い上げなども用紙を作り活用され反映できている。新型コロナウイルスの影響はあるが少しづつ紅葉ドライブなどもいかれたりと出来るは継続してやってほしい。認知症の意思決定は判断が難しく「病院に行きたくない」と言わされたらそのようにするのかいう問題もある。生命にかかる場合はその限りではないので自己決定ばかり優先できなところもある。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方々と出来る限りつながりを持ち資源の把握に努めている。新型コロナウイルス感染拡大にて外部との接触はなかったが地域への貢献として独自に琵琶湖一斉清掃時は掃除をした。今後地域資源や地域との関わりを深め本人の力が発揮できる環境を提供していきたい。	延期になっていた学区の花火大会も地域の方からの連絡で実施日が確認でき、利用者様が参加され楽しむことが出来ている。自治会に入られているので施設でこんなことをしているといった発信が出来るの良いのではないかと思います。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	疾患によっては今までの主治医を希望される場合もあり、ご家族への協力をお願いすることもある。当法人クリニックへの通院については受診介助を行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医の判断でお願いしている。入院された場合は、ご家族やご本人が不安にならないよう病院側との連携を取り退院後の受け入れがスムーズに行えるようにしている。必要であれば退院カンファレンスをお願いして情報把握に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療法人であることから簡単な治療が行えることや医師が利用者様の状態を把握できていることは本人やご家族にとって安心できる環境にあると感じた。新型コロナウイルスにより十分な連携が取れない状況ではあったが今後は連携を深め利用者様が安心できる環境を継続して提供してほしい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所できることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「看取りに関する指針」を定め、入居時にご家族と話し合い文章を確認している。入所時に終末期の看取りまで対応する用意があることを説明し同意を得ている。状況により気持ちの変化もあると思うので、毎年確認させて頂いている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取りに関しての指針や説明等、十分行われている。気持ちが変わるかもしれないというご家族の気持ちにも十分配慮されており、一年一回の意思確認もされているので安心されているのではないかと思う。もう少し外部との連携や協力体制があれば尚良いと感じた。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急救手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時には南大津クリニック及び訪問看護師へ連絡し、指示を得ている。吸引機、酸素ボンベの使い方などは、スタッフ会議で適宜確認している。喀痰吸引研修への参加も進めている。		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染拡大にて消防署の指導はなかったが防災避難自主訓練を年2回実施、緊急連絡網や自衛消防組織を作り初期消火訓練を実施したり、役割分担を明確にし、誘導の仕方、通信方法、器具の使い方等を学び全職員で体験して身に付けるようにしている。水害・地震対策の訓練も同時にを行い、マニュアルに沿った内容をスタッフに周知徹底するよう努めている。また、市の防災マップ等も確認することもしている。	利用者様の行動はその時にならないとわからなないのでどういった動きをするにしても、一つ一つ検証していく対策を講じるしかない。実際に災害が起きて避難場に行つても利用者様が寝られるかといわれると無理がある。また、だれが介護するのか、スタッフが出勤出来るのか等、あらゆる場面を想定したマニュアル作りも今後必要になってくる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

### III. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り同性介護を目指し、浴室も個浴で一人一人の対応、プライバシーの確保に努めている。自室に立ち入る際にも声掛けを行い、了解を得て入るようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り個人の尊厳やプライバシー保護に努めたケアを行っていると感じた。一人一人の要望や不快感が出ないような言葉かけなど工夫しながら実践されている。今後も継続していく欲しい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床時間や食事等、各利用者様によって違うので、それぞれ対応させてもらっている。寝る時間も自室での過ごし方もご本人のペースに合わせた対応している。一人一人の思いを受け入れ支援するように努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お誕生日会や、行事ごとの時は、特に豪華に日常のお食事(鍋・焼肉・焼きそば・餃子等)でも見た目や温度には特に気を使っている。片付けや下ごしらえで出来ることはして頂いている。普通食でない利用者にも見た目や味に工夫し一緒に楽しめる環境にしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスにより外に出られない状況で食事を楽しみにされている利用者様は多くおられると思う。その中で少しでも楽しんでもらおうとイベントをしたりいつもと違う環境での食事を考えたりされている。また、出来ることを把握しあ手伝いや意欲的にして下さる利用者様に十分なサービスを提供されていると感じた。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の記録に、その方の食事量、水分量を記録しており、その中から習慣に応じた対応をしている。看護師と相談しながらミキサー食にしたり塩分摂取の必要に応じて個別に支援している。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後には、きっちり口腔ケアをしている。自分で出来ない方も口腔用のウエットティッシュなどで清掃している。マウスウォッシュなども使用し、口臭などにも気を付けている。何かあれば、歯科訪問に来て頂いている。また、日頃から言語聴覚士と連携を取り、口腔内はもちろん機能向上の訓練等の指導を頂き、提供している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言語聴覚士が定期的に嚥下や口腔状態のチェックもされており、連携している歯医者もある為、ご本人やご家族が安心できているのではないかと感じた。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄パターンを日々の記録から把握し、トイレに誘導している。陰洗などを含めて清潔に気持ちよく排泄が出来るように支援している。看護師と連携し乳製品など内服も交えて排便コントロールも行っており不快感なく背う語せるように支援している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的なトイレ誘導などすぐにパットやオムツ使用に行くのではなく出来る能力を継続しながらサポートに入るように努力されているように感じられた。また訪問看護により毎日の健康が管理されているので安心した環境が提供できている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の意思を尊重して、無理に勧めずなるべくその方のタイミング(昼夕夜など)で対応させて頂いている。毎日入りたいという方には出来る限り毎日入れるようにしている。「今まで寝る前に入っていた」とおっしゃる方にはそのように対応し満足感を提供できている。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床や就寝時間などは個別に対応している。空調や寝具も調整し、温度や湿度にも注意を払っている。自宅で使い慣れた布団等を持参して頂き慣れた環境に近づけるようにしている。その時の体調や下肢の浮腫の予防も兼ね昼夜間に臥床を促すこともある。		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の目的、副作用の理解は一人一人違うため、用法や容量を個別に確認している。服薬手帳を作成し、一人一人の内容把握に努めている。服薬手帳は誰でもすぐ確認できるところに置いている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療法人である為、薬に関する知識に関する勉強会も取り組まれている。すぐに内容を閲覧できる環境でもあった。訪問看護との連携もしっかりとされており利用者様の状態が情報共有出来ている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩に出かけたり、テーブル拭き、洗濯たたみ等、出来ることはして頂くようにしている。また、能力に応じて掃除機をかけたりクイックルワイヤーなどでお部屋の掃除をして頂くようにしている。	こここの景色はとてもきれいでベランダに出てお弁当など食べたりすることで今のご時世、十分外出支援や気分転換出来ているのではないかと思います。山々の緑や川の流れを目や肌で感じ季節感を味わえている。	

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている <b>C. あまりできていない</b> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染拡大により思うように外出や散歩等は出来ていなかつたが少しづつ人が少ない場所や屋上など本人の希望に添い、ご家族や地域の力を借りながら行ける範囲を広げていけるよう努める。	屋上やベランダに出ての気分転換やベランダで食事をしたりされているので十分が外出支援されていると思います。新型コロナウイルスの影響もあり感染対策も必要な今の中でも出来ることはされていると感じました。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている <b>C. あまりできていない</b> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染拡大により外出等、外での金銭のやり取りする機会は現状無いが、ご本にの希望で財布やお金を持ちたい方などは十分に注意し管理することで本人に持つてもらうようにしている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている <b>B. ほぼできている</b> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話は原則自由である。携帯電話を持ち込んでおられる利用者も増え、自由に電話されている。支援が必要な時はスタッフが間に入り取り次いでいる。手紙が届いたり、年賀状・暑中見舞いを家族に送る支援をしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている <b>B. ほぼできている</b> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少しでも生活感が出るよう、のれんや壁の飾りつけ等で季節感を工夫している。また、季節に応じた野菜や草花を育てる工夫して、生活観や季節を肌で感じてもらえるように努力している。新聞を読んで頂いたり、テレビのニュースと一緒に聞いたりして、世間のことに関心を持って生活して頂いている。得意なことも体調を見ながらお願いしている。	A. 充分にできている <b>B. ほぼできている</b> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ここからの景色はとてもよく、彩り行く山々の景色に季節感を感じられる。生活機能向上連携も取り組まれており、一人一人の能力に合った訓練を実施し機能低下ないように努力されている。	

#### IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている <b>B. ほぼできている</b> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染拡大により、出来る範囲は狭くなり、現状窮屈な生活をさせてしまっているが、生活の中で食事や洗濯など出来ることは継続して頂けているし起きたいときや寝たいときに本人の意思を尊重できている。食事も食べたいもののリクエストに出来る限り答えるように努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている <b>B. ほぼできている</b> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染拡大により面会が中止になり今までのように友人・知人との接触は難しいが、「朝食はパンがいい」「ちょっと昼寝するわ」と本人のしたい思いを尊重し支援することが出来ている。夕方に「ご飯作らなきゃ」といわれる利用者様には野菜を切ったりなども手伝って頂くように支援できている。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療法人であるし、訪問看護も入っているため日々の体調管理や生活面での安全も確保することが出来ている。日々の状況も常に看護師に報告し健康管理に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療法人であり、訪問看護との連携もされているため一条的な体調管理は十分にされている。主治医が違う利用者様にもしっかりと受診支援されており健康管理に努めている。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床や就寝、寝る前にお風呂に入りたいと言われる利用者様に対して要望通り対応できている。野菜や草花の栽培など収穫まで一通りのことはして頂けている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅からぬいぐるみや写真、趣味でされていた編み物の作品など馴染みの深いものを持ち込んでもらうようにしている。出来る限り今までの暮らし変わらない安心できる環境で暮らし頂けるように配慮している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人のカラーを大切にされており、持ち込みも可能な体制を築いている。今までの暮らしが継続できるような環境が提供されていると感じた。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染拡大により思うように外出など家族や知人でも接触を控えてもらっている現状で参加は出来ていない。	新型コロナウイルス渦にて開催自体が行われていない。時期を見て再開してもらい交流していってもらえばと思います。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時々で取り組み方を変えたり支援方法を変え、本人の自尊心を傷つけないようにしている。出来なくなつて落ち込む方もおられるがその時は寄り添い一緒に出来ることを見つけるようにしている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分の趣味や生い立ちなど話をしてくれるときはいきいきした表情をされる。特に仕事をされていた男性は自分がいかに頑張ってきたかを話して下さるので仕事をされていた内容に近いお手伝いなどを提供し自分らしさを出していただくようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の生活歴や持つておられる能力を考慮してサービスを提供できている。話を傾聴する時間も設けられたりと、本人の生きがいを持った生活支援が出来ているのではないかと思った。新型コロナウイルスの状況により活動の場面を広げていってほしい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染拡大により外部との接触が出来ていない現状がある。元々あった地域の関係性が途切れないとしていきたく。	大石に住んでおられた方もおられ為、ご家族が近くにいると思うと安心するという声を聞く。新型コロナウイルスにより外部からの接触が難しいが感染状況を見ながら交流を始めてもらえたと思う。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少し不安になられたり自宅のことが心配になられたりすることもあるが、その時に寄り添い、「ここに居てもいいかな」と思える場所になるように関係性を作っている。本人らしく生活	現在施設を利用している人が家に戻っても生活できない現状がある。施設にいるからこそ家に帰りたいといふもののねだりされているのかもしれませんね。スタッフが自分のことを考えてくれていると感じ	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフが一人一人と向き合おうとする姿勢が感じられた。自分の家でない利用者様にとって不安を感じないように話を傾聴したり出来ることをしてもらおうと意欲を無くさないような工夫も見られた。

			が送られるように出来る限り要望を聞くことで 安心した環境を提供することが出来ている。	ことは利用者様の安心に繋がるので継続してや ってほしい。		
--	--	--	-----------------------------------------------	---------------------------------	--	--

(参考様式4)

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム クリーム鹿跳

作成日：令和 3 年 11 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かつたり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2, 3, 4	新型コロナウイルス感染拡大の影響によるものではあるが地域との交流や地域への貢献が少ない	感染状況を見て地域のイベントへの参加。グリーンカフェの再開にて地域との交流機会を増やす。	自治会や包括との連携を取り、安全な環境を作った上でグリーンカフェ再開や独自のイベントに地域の皆さんに働きかけを行い、参加を促す。	6ヶ月
2	9	新型コロナウイルス感染拡大により会えていない現状に対しての対処法がされていない。また意見を反映する機会が設けられていない。	感染状況を見ての面会の解禁や電話での近況報告を増やし、意見の反映やご家族様が安心できる環境を作る。	定期的な電話連絡や手紙や家族通信の活用する。ご家族の不安な気持ちを聞き入れられる体制を確率する。	6ヶ月
3	25	災害対策 水害時の対応マニュアルの作成が十分でない。	①災害時のスタッフ行動マニュアルの作成 ②ご家族への連絡方法の作成 ③地域への連絡方法の確立 ④災害が起こった時の避難場所などをどうするのかを話し合う。	マニュアルの作成、法人内での話し合いを行う。認知症を理解した避難場所を検討する。普段より、ご家族、地域との交流を深め、災害時の確認をしておく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。